

やまざき よういち
9番 山崎陽一 議員



- ①世論
- ②写真家
- ③2期 ④64歳
- ⑤羽東2・6・14
- ⑥555・5098

⑦4年間、議会で一貫して「区画整理撤回」を要求。今回も「355億円のムダ使い。西口区画整理にNO！教育、福祉の充実」を訴えました。前回は超えた支持に感謝し、責任を感じています。

9番議席は開かれた議席です。多くの市民と共に活動していきます。

区画整理は羽村市財政の危機を招きかねない重要問題です。新議員の考えを選挙公報で見ると「推進」1人、「反対・見直し」4人、「区画整理に触れず」13人でした。今後の議会、議員の対応にご注目ください。

こみや くにあき
10番 小宮國暉 議員



- ①新しい風
- ②市議会議員
- ③2期 ④68歳
- ⑤羽東1・2・9
- ⑥554・1555

⑦皆さまからの温かいご支援のおかげで、二期目を迎えることができました。4年間の実績をふまえ、現在の社会情勢に即応した新しい視点を取り入れながら、行財政改革、教育・子育て支援、防災・水害対策など、羽村市が抱えている課題に引き続き取り組んでまいります。

「誰もが笑顔で暮らせる、災害に強いまちづくり」を目指して、これからも初心を忘れず、皆さまの声を市政に届ける一番身近な議員として、一所懸命働きます。

はせひら こうぞう
11番 馳平耕三 議員



- ①民主党 ②市議会議員
- ③3期 ④49歳
- ⑤五ノ神2・1・9
- ⑥554・1064

⑦厳しい状況の中、三期目の議席をいただき、困難な時代に議員として活動する責任の重さを痛感しています。

未曾有の大震災が日本を襲い、かつてない難局を前にして、それでも私達には希望があると感じています。大震災に襲われた日本社会が示したものは、他者への思いやり、分かち合う市民社会の強靱さでした。こうした自治力を育む取り組みを皆さまと共に築きたいと考えています。ご意見・ご要望とどしどしお寄せください。

いしい ひさお
12番 石居尚郎 議員



- ①公明党 ②市議会議員
- ③3期 ④51歳
- ⑤小作台3・18・1
- ⑥579・2275

⑦皆さまのご支援をいただき、議会に送っていただきました。今回は、大震災を受けての選挙となり、「安全・安心の活力あるまちづくり」「支え合う社会の構築」を公約としました。

「目前の課題として、待ったなしの防災・減災の強化・充実を推進してまいります。また、支え合う社会の構築では、障がい者・高齢者・子育て支援などの福祉と教育の充実、地域コミュニティの活性化を加速する必要があります。自ら掲げた公約、皆さまとの約束を果たしてまいります。

はまなか としお
13番 濱中俊男 議員



- ①新政会市民クラブ
- ②会社役員 ③3期
- ④57歳
- ⑤羽加美3・10・22
- ⑥578・2867

⑦「活力全開・リフレッシュはむら」をスローガンに立候補し、このたび、三期目の議会にお送りいただき、責任の重さを実感しております。

東日本大震災後の復興に向けて、国を挙げて長期間にわたり取り組むことが求められています。そのためにも、この羽村市が以前にも増して賑わいを取り戻し、被災地を支援していただけるように、「人も自然も産業も元氣いっぱい羽村市」づくりに邁進してまいります。

たきしま よしお
14番 瀧島愛夫 議員



- ①新政会市民クラブ
- ②会社役員
- ③3期 ④64歳
- ⑤羽東1・13・10
- ⑥555・8412

⑦三期目の議会にお送りいただき、身の引き締まる思いをいたしております。

「住んでよかった元気な羽村」を創造するためには、広域行政の推進、財政の健全化、議会改革の継続があげられます。

議会がみずから考え、議論を尽くし、素早く行動することを念頭に、地域や多くの市民の皆さまの叱咤激励をいただき、議会人としての資質の向上に励みます。引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。

みずの よしひろ
15番 水野義裕 議員



- ①羽村21
- ②市議会議員
- ③3期 ④66歳
- ⑤川崎3・6・24
- ⑥555・7655

⑦東日本大震災は、これまでの国づくりを根本から直す大きなきっかけになるし、そうしなければならぬと考えます。そのためにも、日本を支える人づくりにも力を入れなくてはなりません。もつと学校教育に力を入れることや、多様な生涯学習の場を作ることが必要です。また、市民にわかりやすい政治を追求すること、議会が本来の役割（チェック機能をきちんと果たしていくことを通して、「みんなに住みよい羽村」になるように働いていきたいと考えています。

ふなき よしのり
16番 船木良教 議員



- ①新政会市民クラブ
- ②会社役員
- ③4期 ④58歳
- ⑤小作台3・19・10
- ⑥578・0332

⑦第二期の地方分権改革がスタートして久しい。地方政府をキーワードに、自治体が国から自立できるような仕組みや税財政のあり方を大幅に見直し、地方自治体が政策的にも財政的にも自立し良質な住民主体の行政サービスが受けられるよう政治的にも将来ビジョンを示し、経営力・政策力を向上し地域を活性化しようとするものです。

議会には、自治体業務のすべてに審議権・条例制定権が認められる今日、私も議会人として自覚し羽村市の発展に努力いたします。

もんま ひでこ
17番 門間淑子 議員



- ①市民ネットワーク「いきいき広場」 ②市議会議員
- ③5期 ④63歳
- ⑤双葉町2・6・13
- ⑥553・5604

⑦議会の役割は、「公正・透明な市政運営がなされているか」「住民福祉の増進が図られているか」を、市民目線でチェックすることにあります。人口減少時代を迎え、未来を担う世代に、大きな負担を残さないよう、税金のムダ遣いや行政施策の優先順位を、しっかりとチェックしていきます。調査研究を重ね、市政や議会のありのままをお伝えすることも、議会改革に取り組む、「市民が主役のまちづくり」を目指し、働いていきます。いつでも、皆さまのお声をお待ちしています。

かわさき あきお
18番 川崎明夫 議員



- ①新政会市民クラブ
- ②会社役員
- ③7期 ④63歳
- ⑤羽加美1・35・14
- ⑥554・1477

⑦市民の皆さまが安心して暮らしていけるように、安全なまちを維持することが行政の重要な課題であると考えています。

「防犯・防災・食の安全等」「安心・安全」がキーワードの時代です。引き続き市政の主人公である市民の代弁者の役割を果たしながら、公約で掲げた、隣近所といた、伝統的に持っていた地域社会の「絆」を再生し、「無縁社会」をつくらない、つくらせない本場の「安心」のまちづくりに奮闘してまいります。